

第一学年	国語
1. 学習のねらい	
学習のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
使用教材	国語I (光村図書)、中学書写 (光村図書) 国語の学習I (明治図書)、単元別漢字 (秀学社)、国語便覧 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店)、レスキュー I ()

2. 評価の観点および方法		
評価の観点		評価の方法
① 知識及び技能	<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <p>○我が国の言語文化に関する事項</p>	<p>・ペーパーテスト</p> <p>・漢字などの小テスト</p> <p>・書写作品の課題への取り組み</p>
② 思考力・判断力・表現力等	<p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○話すこと</p> <p>○聞くこと</p> <p>○読むこと</p>	<p>・音読、スピーチなど</p> <p>・聞き取りテスト</p> <p>・授業ノート</p> <p>・ペーパーテスト</p> <p>・作文など課題への取り組み</p>
③ 主体的に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>・「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」の観点の学習状況を踏まえた総合評価</p> <p>・振り返りシート</p> <p>・プリントなど提出物 (内容の充実)</p>

3. 学習計画		
各単元と主な内容	観点別評価の具体例	
3年1学期	<p>○言葉に出会うために</p> <p>①野原はうたう</p> <p>○学びをひらく</p> <p>②シンジュン</p> <p>③情報を整理して書こう</p> <p>④漢字の組み立てと部首</p> <p>○新しい視点で</p> <p>⑤ダイコンは大きな根?</p> <p>⑥ちょっと立ち止まって</p> <p>⑦話の構成を工夫しよう</p> <p>⑧文法への扉I</p> <p>○情報社会を生きる</p> <p>⑨情報を集めよう</p> <p>○言葉に立ち止まる</p> <p>⑩詩の世界</p> <p>⑪比喩で広がる言葉の世界</p> <p>○読書生活を豊かに</p> <p>⑫読書を楽しむ</p>	<p>①情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。【知・技】</p> <p>②場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。【思・判・表】</p> <p>③目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。【思・判・表】</p> <p>④漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。【知・技】</p> <p>⑤「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。【思・判・表】</p> <p>⑥序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。【思・判・表】</p> <p>⑦聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。【思・判・表】</p> <p>⑧文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。【知・技】</p> <p>⑨調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。【思・判・表】</p> <p>⑩表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。【知・技】</p> <p>⑪文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。【知・技】</p> <p>⑫さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書が知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。【知・技】</p>

2学期	<p>○心の動き</p> <p>①大人になれなかった弟たちに……</p> <p>②星の花が降るころに</p> <p>③方言と共通語</p> <p>④漢字の音訓</p> <p>○筋道を立てて</p> <p>⑤「言葉」をもつ鳥、シジウカラ</p> <p>⑥根拠を示して説明しよう</p> <p>⑦話題や展開を捉えて話し合おう</p> <p>⑧大阿蘇</p> <p>○いにしえの心にふれる</p> <p>⑨いろは歌</p> <p>⑩古典の世界</p> <p>⑪蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から</p> <p>⑫今に生きる言葉</p> <p>○価値を見いだす</p> <p>⑬「不便」の価値を見つめ直す</p> <p>⑭文法への扉2</p>	<p>①描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。【思・判・表】</p> <p>②場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。【思・判・表】</p> <p>③共通語と方言の役割や特徴について理解している。【知・技】</p> <p>④漢字の音・訓について理解し、熟語を正しく読んだり、同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。【知・技】</p> <p>⑤筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。【思・判・表】</p> <p>⑥自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。【思・判・表】</p> <p>⑦話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。【思・判・表】</p> <p>⑧詩の言葉がどのように使われているか考えて、朗読をしている。【知・技】</p> <p>⑨⑩言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。【知・技】</p> <p>⑪登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。【思・判・表】</p> <p>⑫音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。【知・技】</p> <p>⑬目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。【思・判・表】</p> <p>⑭「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。【知・技】</p>
3学期	<p>○読書に親しむ</p> <p>①考える人になろう</p> <p>○自分を見つめる</p> <p>②少年の日の思い出</p> <p>③随筆二編</p> <p>④構成や描写を工夫して書こう</p> <p>⑤さくらの はなびら</p> <p>⑥文法への扉3</p> <p>⑦さまざまな表現技法</p> <p>⑧漢字の成り立ち</p>	<p>①読書の意義(=読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと)を理解している。【知・技】</p> <p>②時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。【思・判・表】</p> <p>③場面の展開や描写に着目しながら、筆者の「空」についての思いや「父親」への思いを捉えている。【思・判・表】</p> <p>④読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。【思・判・表】</p> <p>⑤詩の解釈を通して理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。【思・判・表】</p> <p>⑥「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。【知・技】</p> <p>⑦比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。【知・技】</p> <p>⑧漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を使って調べている。【知・技】</p>
1～3学期 (適宜)	書写	<p>○字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。【知・技】</p> <p>○漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書いている。【知・技】</p>
4. 学習方法について		
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしない。 ・提出物の期日を守る。 ・授業を大切にす。 ・先生の話やクラスメイトの意見をしっかり聞き、自分の考えを広げる。 ・ノートは、必ず板書を写し、丁寧に工夫して作る。 ・わからないことがあれば質問し、解決していけるようにする。 	

家庭	<ul style="list-style-type: none">・予習・復習の習慣の定着。(教科書を読み、ノートやワークの見直しをする。)・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、学習する。・課題は確実に取り組む。・読書の習慣をつける。
----	--